

拝啓 今年も既に1月末で、新年も1月が過ぎました。いかがお過ごしでしょうか。いつもエンカウンターお読みいただきありがとうございます。「1月いぬる、2月逃げる、3月去る」という言葉を覚えておりますが、1月から3月までは、慌ただしく過ぎてしまうことの注意だと心しております。

我が家の玄関では、フラワーポットにパンジーが元気よく咲いています。先日パンジーに水をやったら、その夜寒い日で翌日パンジーがだいぶしおれましたが、持ち直して元気になってくれて安心しました。玄関わきに水仙を植えているのですが、これまで毎年葉ばかり育って花が咲かなかったのですが、今年は花を咲かせるのに効く液を混ぜて、よく水をやりましたら、水仙が7つ咲いています。ビートルズのセブン・ダフォディルズという歌を思い出します。

相沢良一先生の『黒潮の神学』の第9回をお送りします。今月号の記事を読みますと、相沢先生も日中戦争に兵隊で行かれて、戦争の悲惨さを身をもって知っておられたから、筋金入りの平和主義者であったことがわかります。この点で、南原先生と相沢先生は共鳴される点が多かったのだと思います。私は終戦の時3歳で、戦争の記憶はありませんが、空襲（岡山）で焼け出され、物資がなく貧しい暮らしから今日のような物質的繁栄の国になった過程は覚えております。私の息子たちの世代になると高度成長期以降に大きくなっていますから、豊かな時代の日本しか知らないわけです。現代史を勉強すること、子供たちに学校で教えることが重要だと思いますが、教えているのでしょうか。

1月8日、本誌読者の佐藤昭夫さんと二人で、山中湖奥の石割山（1413m）に登りました。毎年新年山行として1月の10日前後に石割山に登るのですが、今年は今までで一番よく晴れて、富士山はもちろん、南アルプスが聖岳だけから甲斐駒岳までくっきり見えました。例年ですとこの時期10-20センチの積雪があるのですが、今年は全くなく、絶好の登山日和でした。

犬を飼ってまして、家で勉強している時、昼食後犬を連れて30分ぐらい散歩して、暖かい日だまりの公園のベンチで、魔法瓶にいれたお湯でコーヒーを入れて飲みました。その時、幸せだな、こういう感じを持つのはいつだろう、山の頂上で遠くの山を眺めながら食後コーヒーを飲むときの感じと同じだなあ、と思いました。その話を家人にしたら、青い鳥の話と同じで、幸福というのは案外身近にあるものではないかとわれ、そうかなあと思いました。

寒さ厳しい時期がしばらく続きますが、お風邪をひかれないように注意され、お身体ご自愛ください。

敬具

平成23年1月28日

山口周三

エンカウターの読者各位